

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内（八丈町・青ヶ島村）



タメトモユリ
Tametomoyuri

【定点把握疾患】2025年 第33週（8月11日～8月17日）

八丈島 COVID-19 12件

青ヶ島 なし



ストレチア
Strelitzia

COVID-19 が八丈町で増加していますので、今一度、感染予防を心がけましょう。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第32週（8月4日～8月10日）

☆32週 ・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、4.70と増加傾向です。

・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、2.12と増加傾向です。

ひとくち感染症情報 『百日咳』

百日咳にまだまだ注意！

どれくらい発生しているの？

百日咳は特有のけいれん性の激しい咳発作が特徴的な病気です。患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる分泌物により、飛沫感染・接触感染で広がります。この百日咳が今年都内で流行しています。患者報告数は、直近で過去4年間よりも大きく上回っており、まだまだ増加傾向です。年代では保育園・学齢期が多く全体の75%を占めています。

夏休みの時期となり、塾や学童クラブ、部活動などで過ごす時間も増えることから、体調が悪い際は早めに受診し、無理をせず、自宅で静養するようにしてください。

東京都における百日咳報告数



(C)2002-2025 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>

○東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター）<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト）<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryououdan.html#h2_1

百日咳にかからないためには？

- ・予防にはワクチンが有効です。百日咳は定期予防接種が行われています。0歳2か月に達したら、早めにワクチンを接種しましょう。
- ・また、定期予防接種により免疫を得ていても、小学校就学前にワクチンの効果が薄まるため、日本小児科学会では任意での2回の追加接種（就学前1年間、11～12歳）を推奨しています。

百日咳かもしれないと思ったら？

- ・マスクを着用してください。
- ・早めに医療機関を受診し診断を受けましょう。周囲に百日咳の方がいた場合は医師に伝えましょう。

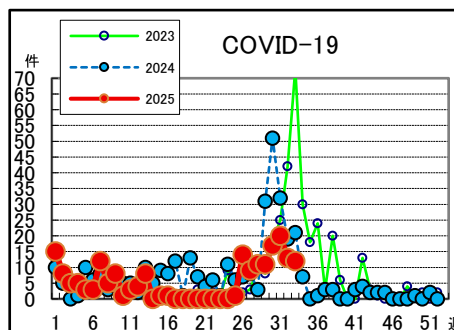
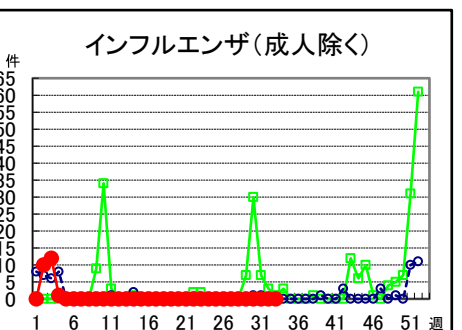
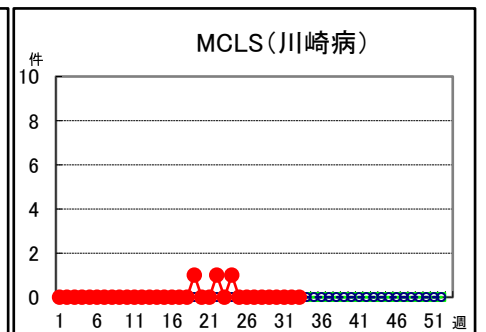
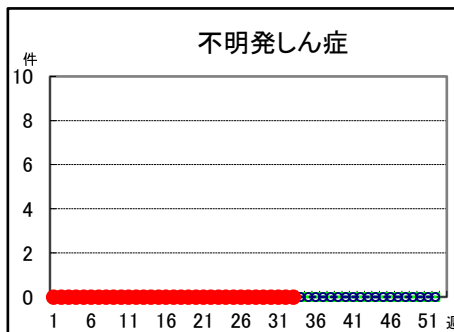
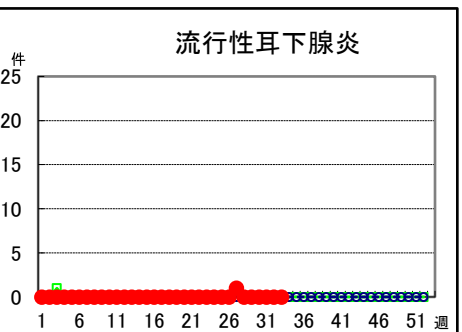
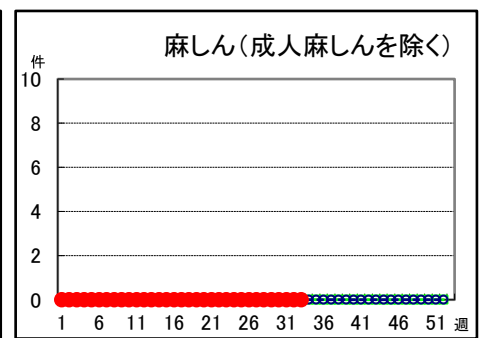
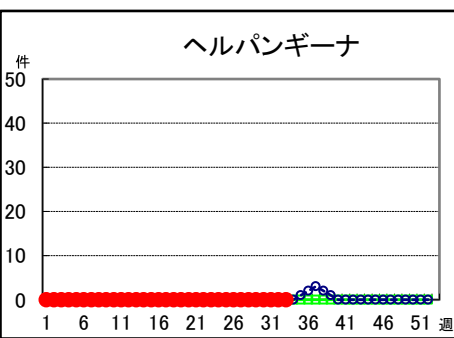
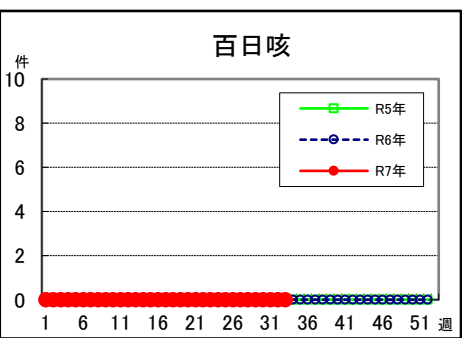
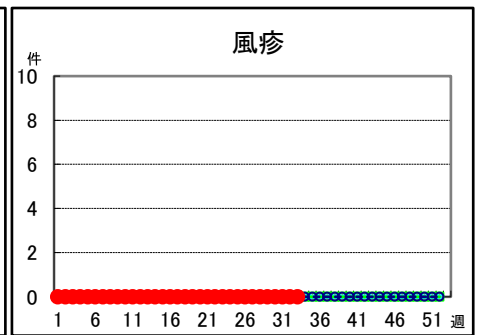
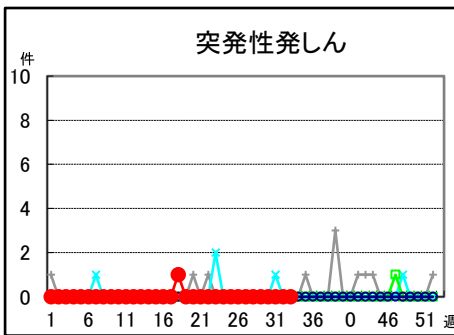
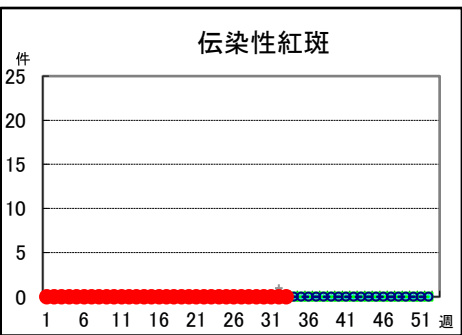
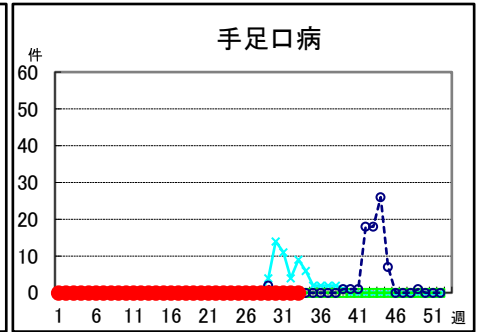
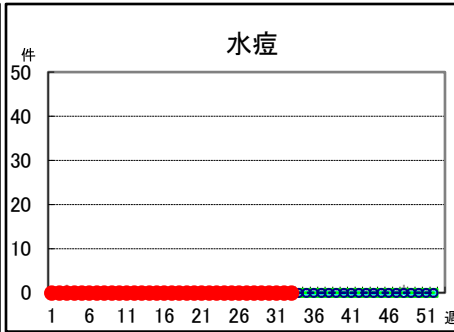
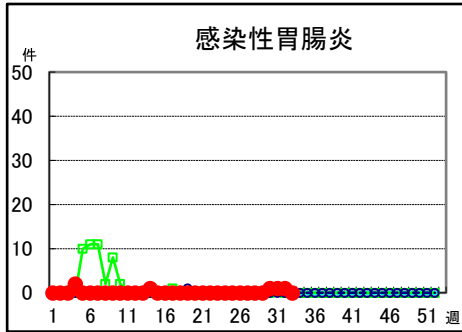
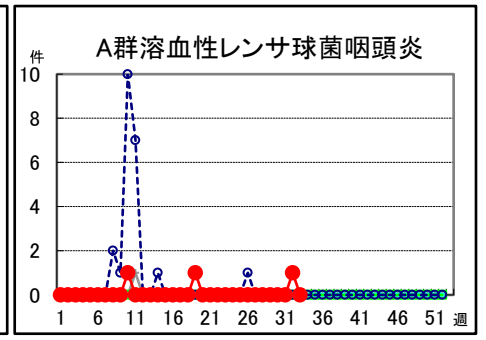
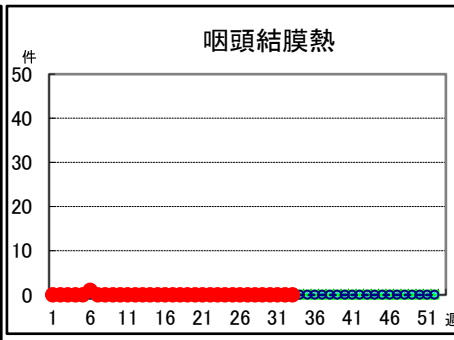
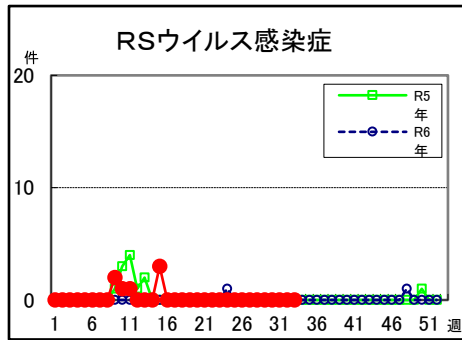
百日咳と診断されたら？

- ・周囲へ感染を広げないために、特に咳の激しい間は外出をひかえてください。
- ・日本でも治療薬となるマクロライド系抗菌薬耐性の百日咳が増えてきているため、これまで以上に咳が出ている間はマスクの着用と手洗いを徹底してください。



「東京都健康安全センター」

QRコード



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
島しょ保健所 八丈出張所
電話:04996-2-1291
FAX:04996-2-0632